

# 工業会活動

## 令和6年度航空機生産額は 前年度比3,751億円の増額

経済産業省が5月16日に公表した生産動態統計月報に基づき、令和6年度の航空機生産額（速報値）を集計した。その結果、総額は前年度比3,751億円（22.2%）増の2兆619億円となり、これまでの最高額となった。平成25年度から急増した生産額は、令和元年度に1兆8,689億円となった後、令和2～3年度はコロナ禍で大きく下落したが、令和4年度からのV字回復が継続、さらには拡大していることが確認された。防衛と民需の内訳は、防衛向けが前年度比1,485億円増の6,286億円、民間向けが2,266億円増の1兆4,333億円となり、その比率は防衛30%対民間70%と防衛が占める割合が微増することとなった。

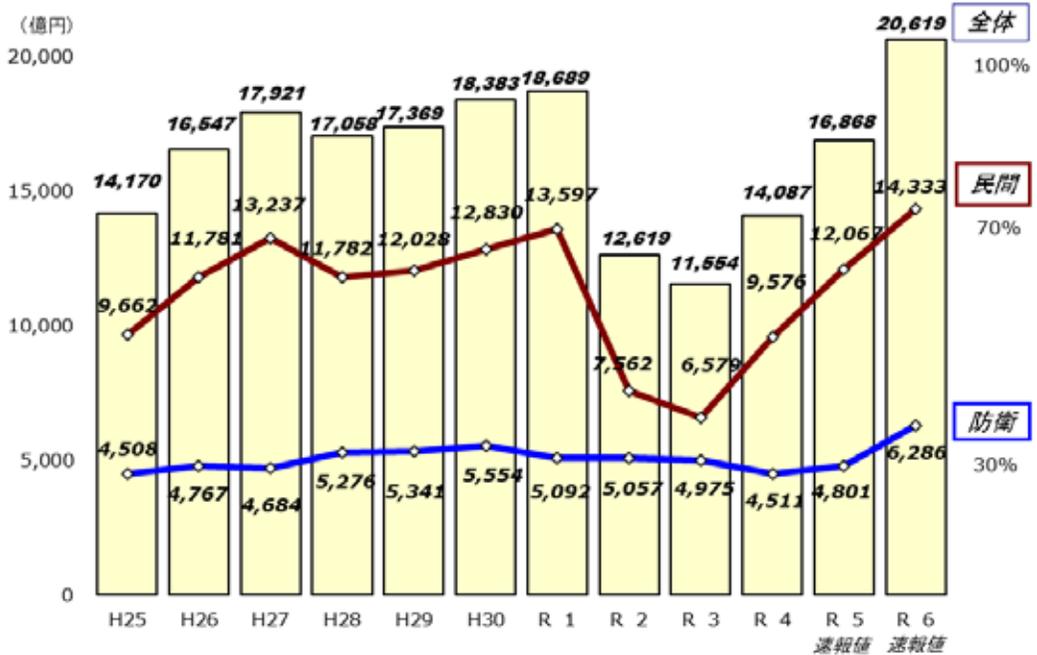
品目別にみると、機体の生産額は、機体本体が634億円増の1,876億円、機体部品が防衛向け機体部品の増等により昨年度実績を622億円上回る6,368億円となったため、機体全体では前年度より1,257億円（18.0%）増の8,243億円となった。エンジンの生産額は、エンジン本体が213億円増、エンジン部品が海外向け部品の増等により昨年度実績を2,035億円上回る9,665億円となり、エンジン全体では前年度より2,248億円（26.5%）増の1兆730億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛向けが244億円（23.2%）増の1,297億円、民間向けが2億円増の348億円となり、その他の機器全体では前年度より246億円（17.6%）増の1,646億円となった。

今後については、防衛向けでは「防衛力整

備計画」（令和5年度～9年度）の折り返しの年を迎えるところ、当面は固定翼機や回転翼機等の調達に伴う安定的生産や日英伊共同開発となる次期戦闘機（Global Air Combat Programme：GCAP）の開発推進が期待される。民間向けでは、航空旅客需要が回復から拡大基調にある中、エンジン関連は部品販売を中心に増加傾向が見込まれる一方、ボーイングの品質問題等に起因する機体の生産・納入計画への影響は継続しており、日本企業にとっても早期の回復が望まれる。

こうした状況下、令和7年以降の航空機生産の動向は引き続き堅調に推移するものと想定されるが、他方で米国関税措置をはじめとする不透明な経済状況も生起しており、地政学的リスクやサプライチェーン、環境対応などの様々な課題に向けて細心の注意を払っていく必要がある。

### 航空機／国内生産額の推移



### 令和5年度と令和6年度の区分別比較

(億円)

区 分	R05年度 速報値			R06年度 速報値			差 (R06 - R05)					
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計			
製 造	機 体	本体	×	×	401	×	×	884	×	×	483	
		部品	1,157	3,776	4,933	1,488	3,912	5,400	331	136	467	
		小計	×	×	5,334	×	×	6,284	×	×	950	
	エンジン	本体	×	×	178	×	×	109	×	×	△69	
		部品	425	7,164	7,590	562	9,033	9,595	137	1,869	2,005	
		小計	×	×	7,767	×	×	9,704	×	×	1,937	
	その他機器	888	325	1,213	1,103	321	1,424	216	△4	211		
	計	2,988	11,326	14,314	4,047	13,365	17,412	1,059	2,039	3,098		
	修 理	機 体	本体	699	142	841	829	163	992	130	22	151
			部品	687	126	812	844	123	967	158	△3	155
小計			1,385	267	1,653	1,673	286	1,959	288	19	307	
エンジン		本体	228	446	674	312	644	956	84	198	282	
		部品	34	7	41	60	10	71	26	4	30	
		小計	262	452	715	372	654	1,026	110	202	312	
その他機器		165	21	187	194	27	221	29	6	35		
計		1,813	741	2,554	2,239	968	3,207	426	227	653		
全 体		機 体	本体	×	×	1,241	×	×	1,876	×	×	634
			部品	1,843	3,902	5,745	2,332	4,035	6,368	489	133	622
	小計 (防民比率)		×	×	6,987 (-)	×	×	8,243 (-)	×	×	1,257	
	エンジン	本体	×	×	851	×	×	1,065	×	×	213	
		部品	460	7,171	7,630	622	9,043	9,665	163	1,872	2,035	
		小計 (防民比率)	×	×	8,482 (-)	×	×	10,730 (-)	×	×	2,248	
	その他機器 (防民比率)	1,053 (75%)	347 (25%)	1,400 (100%)	1,297 (79%)	348 (21%)	1,646 (100%)	244	2	246		
	計 (防民比率)	4,801 (28%)	12,067 (72%)	16,868 (100%)	6,286 (30%)	14,333 (70%)	20,619 (100%)	1,485	2,266	3,751		

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない

×: 経産省生産動態統計の令和2年1月以降の一部データは内訳数値が公表されていない

(出典: 経済産業省 生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部部長 森田 智也〕